

会



報

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA

第 41 回 例会

1960・3・29 (火) 晴

司 会 小 花 会 長 (点 鐘) リ ン グ それでこそロータリー
 ゲ ス ト 山 科 幸 五 郎 氏 (県 立 鶴 岡 盲 学 校 長)
 報 告 及 連 絡 安 藤 幹 事

- ① 欠員中の副会長に金井国之助君を補充することに理事会で決定しました。
- ② 「ロータリー傘」余分ありますので出来るだけロータリアンの職場に備付けて下さい。(1本、400.一位)
- ③ 盲学校へ寄贈の古葉書近く取纏めて贈呈しますので、事務所又は幹事迄御提出下さい。
- ④ 他クラブよりの通信

○ チャーターナイト案内

村山 R.C	4月24日(日) 楯岡高等学校	11.00 ~ 15.40 登録料 2,000
角館 R.C	4月29日(金) 角館小学校	10.00 ~ 17.30 登録料 2,500
竜野 R.C	5月8日(日) ヒガシマル・ホール	12.00 ~ 17.00 登録料 2,000
峰山 R.C	5月15日(日) 峰山小学校	11.30 ~ 17.00 登録料 2,000

○ 例会場移転

大宮 R.C 埼玉銀行大宮支店会議室 (4/27 より)

卓 話

(SPEAK) スピーカー 山 科 幸 五 郎 氏 (盲学校と盲人教育について)

県立鶴岡盲学校の沿革及び現在の職員、生徒の現況について話されて小学部、中学部は夫々6年、3年で義務教育であり、普通学校教育と変りなく唯、点字教科書を用いておること、39名の生徒中31名が寮に起居し、4人の寮母が昼夜を分たぬ親身の苦勞をしていること、点字の読解力は1~2学期を要するが書く力は僅か1~2ヶ月でおぼえると云う普通人と反対の事実を知る。又点字書は非常に少く日赤、点字奉仕団等の奉仕に頼っている気の毒な実情も知った点字用紙も高価で日々の練習には古葉書を利用して居り当クラブの寄贈を非常に喜ばれた。以上耳新しい盲人教育の実情や、同情に堪えない環境

鶴 岡 ロ ー タ リ ー ・ ク ラ ブ

事務所 { 山形県鶴岡市三日町
 鶴岡商工会議所内
 (TEL 123・1563)

例会日 火 曜 日
 例会場 ひ さ ご や
 (TEL 707)

を知ることが出来た。

会員の声

国会にまで問題になつた鶴岡保健所検便問題（所謂四つんばい事件）の真相を知つておく必要があるのではないか。（亀やホテル社長阿部君幸い、在席の為その真相を聞くことが出来た）

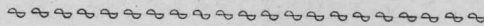
SMILEBOK

阿部君（前回市会の為欠席）
（ニコニコ）

出席報告 金井(国)出席奨励委員長

本日の出席				前回の修正			
出人	36名中	出席率	80.56%	出人	27名	出席率	75.00%
席員	27名			席員	27名		80.56%
欠席者	張君 今間君 三浦君 齋藤君 荘司君 鈴木君 佐藤(真)君			メア ーシ クラブ	板垣君(3/26 天童) 河村君(3/26 天童)		

本日の献立 ひらめ刺身・鳥・筍・しいたけ甘味・あいなめ汁・新香(きうり)



次回例会 4月5日(火) ひさごや
卓話予定 庄内観光協会長・宮本正勇氏 「庄内観光について」